

答え合わせは予習シリーズで**①種子のつくり**

種子は、胚乳に養分をたくわえる （イネなど）と、胚の一部の子葉に養分をたくわえる （インゲンマメなど）とがある。

は植物のからだになる部分で、はじめて出る葉となる や、発芽してくきになる胚軸などがある。

②種子の発芽と成長

種子が発芽するためには、・・の3条件が必要である。

発芽後成長するためには、さらにとが必要になる。また、植物がよく育つためには、空気や水をほどよく保つ土があるとよい。

③花のつくりと受粉

花びら・がく・めしべ・おしべの4つを据えた花を完全花という。

めしべは花の中心となるつくりで、成長して種子になる がある。胚珠が子房に包まれている植物を 包まれていない植物を という。

おしべには花粉をつくる があり、やくは花糸に支えられている。

おしべでつくられた花粉がめしべにつくことを という。受粉には、花粉が別の株の花のめしべにつく や、同じ花のめしべにつく がある。イネ・アサガオ・エンドウなどは自家受粉をする。また、花粉の運ばれ方によって や がある。

とは、受粉した花粉からのびる を通じて、花粉の核と胚珠の核とが合体することという。受精をして種子ができる

④いろいろな花

	花びら	がく	おしべ	胚珠	その他の特ちょう
アブラナ		4		多数	花びらを取り外せる
アサガオ	5	5	5		花びらがくっついている
タンポポ		多数	5	1	たくさんの花が集まっている
イネ		なし	6	1	風媒花

⑤果実

果実はふう、種子のまわりにある が成長してできる だが、子房以外の部分が成長してできる もある。リンゴ・ナシ・イチゴは花たくが成長して食用部分になる偽果である。